



2022年8月12日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 加 藤 友 彦  
 (コード番号5337 東証スタンダード)  
 問合せ先 総務部長 田 中 靖 久  
 (TEL (06)4795-5000)

営業外収益、営業外費用の発生及び  
 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異並びに  
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年12月期第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)において、営業外収益、営業外費用の発生及び2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との間に差異が生じ、また、2022年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 営業外収益の内容

為替差益

第2四半期連結累計期間において、外国為替相場の変動に伴う外貨建資産の評価等により255百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。

## 2. 営業外費用の内容

持分法による投資損失

第2四半期連結累計期間において、第1四半期に引き続き、持分法適用関連会社SRE Technologies Inc. のマーケティング強化に伴う費用の増加等により265百万円の持分法による投資損失を営業外費用に計上いたしました。

## 3. 2022年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

(2022年1月1日～2022年6月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1株当たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	2,300	△ 300	△ 300	320	10円79銭
今回発表実績 (B)	2,175	△ 505	△ 496	101	3円42銭
増減額 (B-A)	△ 125	△ 205	△ 196	△ 219	
増減率 (%)	△ 5.4	—	—	△ 68.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	2,464	△ 577	△ 495	△ 411	△13円88銭

#### 4. 連結業績予想の修正

(1) 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,300	△ 290	△ 300	280	9円44銭
今回修正予想 (B)	5,100	△ 520	△ 520	40	1円35銭
増減額 (B - A)	△ 200	△ 230	△ 220	△ 240	
増減率 (%)	△ 3.8	—	—	△ 85.7	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,018	△ 898	△ 1,031	△ 967	△32円61銭

#### 5. 差異及び修正の理由

2022年12月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、販売体制の強化及び指定力の向上に努め、販売価格や運賃制度の改定に取り組んで参りましたが、急激な円安やエネルギー資源の高騰は建築物の建設費にも大きく影響を及ぼし、建設費を抑えるためにタイル等の意匠材の使用面積が減少するといった要因もあり、売上高28百万円及び営業利益74百万円、不動産事業においては、日本への渡航制限が緩和されたことを受け、主要顧客である海外投資家が投資再開に向けた動きを活発化させておりますが、当第2四半期連結会計期間においては、新規のアセットマネジメント業務の受託には至らず、売上高96百万円及び営業利益129百万円、当初の予想より下回る結果となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記記載のとおり、為替差益255百万円を営業外収益に計上しましたが、持分法による投資損失265百万円を営業外費用に計上することとなり、当初予想を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上